アリザリンレッドS　$C_{14}H_5O_2(OH)_2SO_3Na \cdot H_2O$〔アリザリンレッドS（アリザリンスルホン酸ナトリウム）、特級〕　変色範囲pH（黄）3.7～5.2（橙赤）

アリザリンレッドS試液　アリザリンレッドS0.1g（0.05～0.14g）に水を加えて溶かし、100mLとする。必要ならば、ろ過する。

亜硫酸水素ナトリウム　$NaHSO_3$〔特級〕

亜硫酸ナトリウム　$Na_2SO_3 \cdot 7H_2O$〔特級〕

アルカリ性銅試液A　リン酸一水素ナトリウム71g（70.5～71.4g）及び酒石酸カリウムナトリウム40g（39.5～40.4g）を水650mLに溶かし、1mol/L水酸化ナトリウム試液100mLを加え、これを静かにかき混ぜながら、さらに、硫酸銅溶液（10→100）80mLを徐々に加える。次に、無水硫酸ナトリウム180g（179.5～180.4g）を加えて溶かした後、ヨウ素酸カリウム溶液（3.6→100）25mLを加え、さらに、水を加えて1,000mLとする。2日間25～35℃で放置した後、沈殿物をろ過して除き、25～35℃で保存する。

アルカリ性銅試液B　硫酸銅4.0g（3.95～4.04g）、無水炭酸ナトリウム24g（23.5～24.4g）、炭酸水素ナトリウム16g（15.5～16.4g）、無水硫酸ナトリウム180g（179.5～180.4g）及び酒石酸カリウムナトリウム12g（11.5～12.4g）に水を加えて溶かし、900mLとする。この溶液を10分間沸騰させた後、冷却し、水を加えて1,000mLとし、密栓し、1週間放置した後、ガラスろ過器（G3）でろ過し、遮光して保存する。

アルカリ性ブルーテトラゾリウム試液　ブルーテトラゾリウム試液、アルカリ性の項に定める。

安息香酸（標準試薬）　C_6H_5COOH〔容量分析用標準試薬〕

アントロン　$C_{14}H_{10}O$〔特級〕

アントロン試液　アントロン35mg（34.5～35.4mg）に硫酸100mLを加えて溶かす。

アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液、pH10.7　塩化アンモニウム67.5g（67.45～67.54g）に水を加えて溶かし、強アンモニア水570mLを加え、次に、水を加えて1,000mLとする。

アンモニア試液　強アンモニア水400mLに水を加えて1,000mLとする（10%）。

アンモニア水、強　NH_4OH〔アンモニア水、特級、比重0.90〕

アンモニア水、25%　NH_4OH〔アンモニア水、特級、比重0.91〕

アンモニア水　〔日局〕

アンモニア性メタノール試液　強アンモニア水10mLにメタノール190mLを加える。

イソアミルアルコール　アミルアルコール、イソの項に定める。

イソオクタン　$(CH_3)_3CCH_2CH(CH_3)_2$〔日局〕

イソブタノール　ブタノール、イソの項に定める。

イソプロパノール　プロパノール、イソの項に定める。

一酸化鉛　PbO〔特級〕

牛血清アルブミン　牛の血清から分離し、アルコール分画法で精製されたアルブミンの白色～薄い黄褐色の粉末である。

純度　96%以上

牛心臓抽出液　本品は、脂肪、腱及び血管を除いた心筋を肉ひき機で細挫し、水を加え、ときどき振りながら24時間4℃以下で保存する。次に、50℃の水浴中で数時間加温した後、沸騰させ、又は蒸気下で100℃に数分間放置する。放冷した後、布で、次に、ろ紙でろ過する。

馬脱繊維血液　無菌的に採血後30秒以内に滅菌ガラス玉で確実に脱繊維する。

保存法　2～6℃

使用期限　製造後2週間

ウラシル　$C_4H_4N_2O_2$〔1級〕

液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲル〔日局〕

液体クロマトグラフ用シリカゲル　シリカゲル、液体クロマトグラフ用の項に定める。

エステル分解酵素液　本品は、*Streptomyces rochei* var. *volubilis* の培養ろ液から分離したエステル分解酵素を硫酸アンモニウム溶液（423→1,000）に懸濁した溶液であり、1.0単位/mL以上を含む。なお、1単位は、25℃、pH7.0で1分間に酢酸4-ニトロフェニルから4-ニトロフェノール1μmolを生成する量である。本品は、6℃以下に保存する。本品は、用時、適量の水で薄め、メンブランフィルター（0.45μm）でろ過した後、更に水で薄めて0.035単位/mLのエステル分解酵素液とする。

エタノール　C_2H_5OH〔エチルアルコール（95v/v%）、特級〕

エタノール、希　エタノール1容量に水1容量を加える。C_2H_5OH47.45～50.00v/v%を含む。

エタノール、不含クロロホルム　クロロホルム、エタノール不含の項に定める。

エタノール、無アルデヒド　エタノール1Lを共栓瓶に入れ、酢酸鉛2.5g（2.45～2.54g）を水5mLに溶かした溶液を加え、よく混ぜる。別に、水酸化カリウム5g（4.5～5.4g）を温エタノール25mLに溶かし、放冷した後、この溶液を前の溶液にかき混ぜないで静かに加え、1時間後この溶液を激しく振り混ぜ、一夜放置し、上澄液をとり、蒸留する。

ビタミンD定量に用いるものは、一般試験法のビタミンD定量法に定めるところによるものとする。

エタノール、無水　C_2H_5OH〔エチルアルコール（99.5v/v%以上）、特級〕

エチレングリコール　$HOCH_2CH_2OH$〔エチレングリコール（グリコール）、特級〕

エチレングリコール、カールフィッシャー用　エチレングリコールを蒸留し、195～198℃の留分をとる。本品1mL中の水分は、1.0mg以下である。

エチレングリコールモノメチルエーテル　$HOCH_2CH_2OCH_3$〔エチレングリコールモノメチルエーテル（メチルセロソルブ）、特級〕

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム　$C_{10}H_{14}N_2Na_2O_8 \cdot 2H_2O$〔特級〕

エーテル　$C_2H_5OC_2H_5$〔エチルエーテル、特級〕

エトキシキン、定量用　エトキシキン製造用原体　定量するとき、エトキシキン（$C_{14}H_{19}NO$）98.0%以上のものに限る。

NN指示薬　2-オキシ-1-（2′-オキシ-4′-スルホ-1′-ナフチルアゾ）-3-ナフトエ酸0.5g（0.45～0.54g）及び無水硫酸ナトリウム50g（49.5～50.4g）を混ぜ、均質になるまですりつぶして調製する。

エピクロルヒドリン　C_3H_5OCl〔特級〕

エリオクロムブラックT　$C_{20}H_{12}N_3NaO_7S$〔エリオクロムブラックT、（1-（1-ハイドロオキシ-2-ナフチルアゾ）-5-ニトロ-2-ナフトール-4-スルホン酸ナトリウム）、特級〕

エリオクロムブラックT・塩化ナトリウム指示薬　エリオクロムブラックT0.1g（0.05～0.14g）及び塩化ナトリウム10g（9.5～10.4g）を混ぜ、均質になるまですりつぶして調製する。

エリオクロムブラックT試液　エリオクロムブラックT0.5g（0.45～0.54g）及び塩酸ヒドロキシルアミン4.5g（4.45～4.54g）を量り、エタノール100mLを加えて溶かす。遮光した容器に保存する。

塩化アンモニウム　NH_4Cl〔特級〕

塩化アンモニウム試液　塩化アンモニウム10.5g（10.45～10.54g）に水を加えて溶かし、100mLとする（2mol/L）。

二塩化エチレン　一般試験法のビタミンD定量法に定めるところによる。

塩化カリウム　KCl〔特級〕

塩化カリウム・塩酸緩衝液　塩化カリウム溶液（3→20）250mL及び2mol/L塩酸試液53mLに水を加えて1,000mLとする。

塩化カルシウム　$CaCl_2 \cdot 2H_2O$〔塩化カルシウム（2水塩）、特級〕

塩化カルシウム、水分測定用　$CaCl_2$〔水分測定用、1～3号〕

塩化カルシウム試液　塩化カルシウム7.5g（7.45～7.54g）に水を加えて溶かし、100mLとする（0.5mol/L）。

塩化第一スズ　$SnCl_2 \cdot 2H_2O$〔特級〕

塩化第一スズ試液、酸性　塩化第一スズ8g（7.5～8.4g）に塩酸500mLを加えて溶かす。共栓瓶に保存する。調製した後3か月以内に用いる。